

平成 23 年 8 月 9 日

関係者各位

株式会社 農業法人みずほ

茨城県つくば市柳橋 496

TEL029-856-1090

FAX029-856-2233

<http://www.mizuhonomuraichiba.com>

23 年産水稻生育中の放射能検査結果のお知らせ

農産物直売所「みずほの村市場」では、原発事故による農産物の放射能汚染を受けて、リスクの高い全品目の放射線量を測定しています。

今回は、放射能汚染が心配されている 23 年産新米を生育段階からの調査結果をご報告致します。

分析は、みずほに出荷する米農家の中から土壌汚染が一番多い龍ヶ崎市の農家の水稻で行いました。

まず、稲株を土ごとそっくり取り、バケツに入れ茨城大学に送りました。

大学では、稲穂、茎・葉、根、土の 4 つに分けそれぞれ放射能分析を行いました。

その結果、土からはセシウムが 452 Bq/kg 検出されましたが、稲穂、茎・葉、根からは非検出でした。

ちなみに、今回の調査圃場は田植え前の 4 月 19 日に調査したところセシウムは 1,494 Bq/kg ありましたが、1/3 以下に下がっております。これは、セシウムは水溶性が高い為、水田の様に多くの水を使用するところでは流亡し易いのだと推測できます。

別のつくば市内の露地の畑では 4 月 10 日に 157 Bq/kg で、7 月 20 日の調査でも 158 Bq/kg とセシウムの値はほとんど変化していません。

新米の収穫までまだ 1 ヶ月ほどありますので、今後も 1 週間ごとに計測を続け安全性を確認していく予定です。

なお現在、古米の買い占めが横行していますが、上記の結果からも今年の新米の汚染の心配はほぼ無いと考えて良いと思われれます。むしろ、古米の保存方法によってはカビの発生によるカビ毒の方がよほどリスクが高いです。

報道関係の方におかれましては、現状を正確に報道されることを望みます。

(※測定結果等を参考資料として添付しました。)

1.測定協力 茨城大学 応用粒子線科学専攻 高妻孝光教授

2.本件に関する問い合わせ先

株式会社みずほ

生産研究部長 高橋広樹

TEL090-2442-1459 takahashi@mizuhonomuraichiba.com

以上